

学校教育目標 「地域を愛し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」  
 努力目標

☆「つながる」《人権・同和教育の推進》

生徒一人ひとりが、周りから大事にされていると実感する集団づくりをめざし、生徒の自尊感情を高めます。

達成するために	評価目標
ア 学習計画帳を通して生徒と気持ちの交流を図れるよう、提出の習慣化をめざします。 イ 人権学習、「城東の集い」、人権講演会などのとりくみでは、自分や仲間をみつめるための発信・交流の場を設定します。 ウ 生徒にできる限り言葉をかけるとともに、授業・帰りの会等で生徒へのプラスメッセージを発信します。 エ 生徒の心の交流を図るため、通信を発行します。 オ 差別語をなくそうとする行動力を学習を通して育てていきます。	①「自分の考えや気持ちを学級または学年で言い合える」 【80%】(A・B評価)  ②「自分のことが好きと言える」 【85%】(A・B評価)  ※C・D評価から課題を見つめます。

☆「わかる」《学力の向上》

生徒がわかる授業の創造を目指し授業改善に取り組むとともに、家庭学習習慣の定着に努め、自分の目標実現に向けて自学できる力を育成します。

達成するために	評価目標
ア 学習の見通しをもつために、毎時間の授業の「めあて」を明示するとともに、学びを深めるための「ふりかえり」の場を設定します。 イ 表現交流・小集団学習の時間を授業に設定します。 ウ 授業力向上をめざし、研究授業や授業参観に積極的に取り組みます。 エ チャイム着席と授業準備の徹底に努めます。 オ 教科担当者は、毎時間、宿題を提示します。 カ マイスタノートの活用を図り提出を習慣化します。 キ 全国学調、みえスタディ・チェックなどの各調査結果を学力向上の取組に生かします。	①「授業内容がよくわかる」 【85%】(A・B評価) ②「自分の設定した目標時間以上、家庭学習にとりくむ。」 ～学年目安～ 1年70分、2年80分、3年90分 【80%】(A・B評価)  ※C・D評価から課題を見つめます。

☆「であう」《キャリア教育、地域との連携》

出会い・体験学習を通して、気づきと感動を大切にしたいと取り組みを進めます。

達成するために	評価目標
ア 毎学期、ゲストティーチャーや講師を招いての学習を充実します。 イ 体験活動や交流活動から学習する機会を充実します。 (校区探検、職場体験、修学旅行など) ウ 家庭訪問を大切にし、学習活動の成果や課題をできる限り、直接、保護者の方へ伝えます。 エ 学校運営協議会と連携し、地域の人との交流から学ぶ機会を増すように努めます。 オ 学級・学年通信、学校だよりの発行、ホームページによる発信の充実に努めます。 カ 健康で安全な働き方について学習を進めます。	①「自分を振り返り、人との関わりや生き方について考えた。」 【90%】(A・B評価)  ②「自分の将来の夢や目標をもつことができた。」 【90%】(A・B評価)  ※C・D評価から課題を見つめます。